

2018年10月31日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 サ ン リ オ
代 表 者 名 の 代 表 取 締 役 辻 信 太 郎
役 職 氏 名 社 長
(コード番号 8136 東証第1部)
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 江 森 進
電 話 番 号 03 (3779) 8058

第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2018年5月11日に公表いたしました2019年3月期第2四半期の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

併せて、2019年3月期の通期業績予想につきましても下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

1. 2019年3月期第2四半期累計期間連結予想数値と実績値との差異について (2018年4月1日から2018年9月30日)

(1) 連結業績予想値と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 28,800	百万円 2,100	百万円 2,200	百万円 900	円 銭 10.61
実績値(B)	28,272	2,158	2,730	1,516	17.87
増減額(B-A)	△527	58	530	616	—
差額率(%)	△1.8	2.8	24.1	68.5	—
(ご参考) 前期実績 2018年3月期 第2四半期累計	28,299	2,401	2,664	1,935	22.81

(2) 個別業績予想値と実績値との差異

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 19,800	百万円 900	百万円 600	円 銭 7.07
実績値(B)	19,366	1,224	840	9.91
増減額(B-A)	△433	324	240	—
差額率(%)	△2.2	36.0	40.2	—
(ご参考) 前期実績 2018年3月期 第2四半期累計	19,889	1,258	1,040	12.27

2. 2019年3月期通期業績予想の修正について

(2018年4月1日から2019年3月31日)

(1) 連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	60,600	5,200	5,400	3,000	35.36
今回修正予想(B)	60,600	5,200	6,000	3,700	43.61
増減額(B-A)	—	—	600	700	—
差額率(%)	—	—	11.1	23.3	—
(ご参考) 前期実績 2018年3月期	60,220	5,734	6,020	4,928	58.09

(2) 個別業績予想の修正

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	42,100	2,300	1,400	16.50
今回修正予想(B)	42,100	2,800	1,900	23.29
増減額(B-A)	—	500	500	—
差額率(%)	—	21.7	35.7	—
(ご参考) 前期実績 2018年3月期	42,199	5,844	4,175	49.21

3. 差異の理由及び通期業績予想の修正の理由

(1) 第2四半期業績予想との差異の理由

(連結)

売上高は、第2四半期連結会計期間での、国内での自然災害の影響、欧州でのロイヤリティ収入の減少もあり予想を下回りましたが、経費の削減もあり、営業利益は予想を若干上回りました。経常利益につきましては、投資事業組合運用益、受取利息、為替差益等の営業外収益が予想を上回った結果として27億円（前回発表予想比5億円増）となりました。さらに、特別損失として計上を予定しておりました米国子会社のリストラ費用が予想より減少する見込となりましたので、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億円（同6億円増）と、業績予想値を上回る結果となりました。

(個別)

売上高は、第2四半期会計期間での、国内での自然災害の影響もあり予想を下回りましたが、経費の削減や、投資事業組合運用益、国内連結子会社に対する貸倒引当金の戻入益、為替差益等の営業外収益が予想を上回った結果として経常利益は12億円（前回発表予想比3億円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億円（同2億円増）と、業績予想値を上回る結果となりました。

(2) 通期業績予想の修正の理由

営業外損益及び特別損益の第2四半期累計期間の実績を踏まえ、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益（個別では当期純利益）の予想数値を変更します。

以 上